



自動運転車いすの実証実験が進められています

問 伊奈庁舎企画政策課 (内線1205)

自動運転車いすの技術を活用した実証実験が10月から開始されています。これは昨年9月に当市とピクシーダストテクノロジーズ(株)が締結した包括連携協定に基づいて行われています。

自動運転車いすは、高齢者が介助なく「好きなときに好きな場所へ」移動できることをコンセプトに開発され、実験が進められています。

現在は移転したわかくさ幼稚園の跡地を使って、自動運転車いすの使用が想定されている室内での走行を再現し、実験を行っています。

現在は「開発とニーズ分析」の段階で、令和3年度は「導入方式検討と試験導入」、令和4年度は「効果検証と利便性拡張」を行い、その後の実装を目指して段階的に進めていきます。



旧園舎で行っている自動運転車いすの走行実験



市内小学校に「スナッグゴルフセット」を寄贈いただきました

問 教育委員会スポーツ推進室 (内線7307)

子どものうちからゴルフに親しむ機会を増やし、ゴルフの魅力やスポーツの楽しさを知ってもらおうと、一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)および(株)アンフィニの片山章彦代表取締役、茨城にゆかりのあるプロゴルフアーの富山聡様、額賀辰徳様、石田鈴千代様から市に「スナッグゴルフ・スクールセット」10セットを寄贈いただきました。

12月14日には伊奈庁舎で寄贈式が行われ、片山代表取締役から小田川市長に、額賀辰徳様から福田教育長に寄贈品が手渡されました。

寄贈されたセットは市内小学校全校に配布し活用いたします。小田川市長は「スナッグゴルフをきっかけにゴルフに親しみ、将来世界へ羽ばたくプロゴルファーが誕生してくれたら」と期待を込めてあいさつしました。



左から富山プロ、(株)アンフィニの片山代表取締役、小田川市長、福田教育長、額賀プロ、石田プロ

くらしのQ&A

[今月のテーマ]

若者に多い情報商材のトラブル

Q

「1日数分で月〇万円を稼げる」など、お金儲けの方法を教える「情報商材」のトラブルが多いと知りましたが、どんなトラブルですか。

(20代・男性)

A

高額収入は望めず借金が残ることも!

「情報商材」は、主にインターネットの通信販売で、副業や投資などに使う「高額収入を得るためのツール」と称して販売されている情報のことです。契約するとメールなどで送付され、スマホやパソコンなどでダウンロードして利用することができます。

最近の手口は、初めに1万円程度の情報商材を販売します。これにはサポートがついてないため、やり方が分からず困っていると「高額なほど手厚いサポートがある。簡単に稼げてすぐに元が取れる」と、さらに契約を勧めてきます。100万円を超えるクレジットカード決済や、借金の方法を指示され、借り入れたお金をそのまま手渡ししてしまう例もありました。

情報商材は契約前に中身を確認することができません。そのため、「広告や説明と違ってまったく儲からない」というトラブルが絶えません。もし不安に感じたら、早めに消費生活センターにご相談ください。



市消費生活センター
イメージキャラクター
まみりん

問 市消費生活センター (谷和原庁舎1階)

☎25 - 3288

問 つくばみらい市役所 (代表) ☎0297 - 58 - 2111